



音楽で結ぶ心の絆

～金武中学校卒業演奏会～



▲会場を巻き込んで…



▲打楽器アンサンブル



▲女性合唱の様子



▲音楽が結ぶ心の絆



▲開邦高校の仲村沙和子さん



▲東京から駆けつけた与儀巧さん

三月十五日、町立中央公民館大ホールで金武中学校卒業演奏会が行われました。

演奏会は五部構成で行われ、第一部から第三部までは吹奏楽部による演奏。第四部では選択合唱クラスによる独唱や重唱、女声合唱等。第五部では全体での合唱が行われました。それぞれが素晴らしい演奏と歌声で、これまでお世話になった方々への感謝の気持ちを表すとともに、共に頑張ってきた卒業生を送りました。

また、今回は、顧問の崎浜敏江先生が教職生活最後ということもあり、たくさんのOB・OGが駆けつけ、舞台上や裏方として演奏会に参加しました。テーマである「音楽で結ぶ心の絆」を体現したような素晴らしい演奏会となりました。

いよいよ新年度がスタートします。入学や新学年度を控えて、気持ちも高揚していることと思います。また、社会人の皆様は入社や人事異動等、新天地でのスタートもあることでしょう。新たな気持ちでスタートする皆様の新年度に、心よりエールを送ります。

さて、四月といえば清明腰ゆくい等、行事が満載でございませう。しかし、全世界的に有名なエイプリルフルですね。一年に一度嘘をついても許される日として有名ですが、実は、エイプリルフルの由来に確かな根拠は無いそうです。エイプリルフルですから、どんなに確かな根拠を示しても、嘘ととられてしまうのかもしれないですね。

しかし、時として、嘘と知っていても、踊らなければならぬときがあります。「踊る阿呆に見る阿呆。同じアホなら踊らにや損損」です。さあ、皆様、踊りましょう。平成も節目の二十年を迎えました。暗い気持ちなど吹き飛ばし、金武町民揃って笑おうじゃないですか！では、今年度も私のつたない広報にご付き合ってくださいませ。

編集後記



No.470

平成20年(2008年)

4月号

広報

金武

人口のうごき

総人口 11,060人 (3)
男 5,462人 (6)
女 5,598人 (-3)
世帯数 4,737戸

(各区分人口)平成20年2月末日現在
金武 4,797人 (0) 転入 35人
並里 2,708人 (1) 転出 31人
中川 940人 (2) 出生 8人
伊芸 921人 (1) 死亡 9人
屋嘉 1,694人 (-1) 結婚 3件
離婚 2件
()内は増減を表す



▲笑顔いっぱいの卒業式

卒業おめでとう!

～町内小・中学校で卒業式～

人事異動一覧表

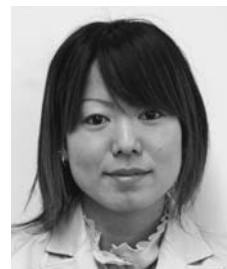
(平成20年4月1日)

No.	氏 名	新 所 属 課		旧 所 属 課		No.	氏 名	新 所 属 課		旧 所 属 課	
		課 名	職 名	課 名	職 名			課 名	職 名	課 名	職 名
1	松 堂 嘉 光	議会事務局	局長(昇任)	議会事務局	主 幹	24	飯 野 千鶴子	税 務 課	主 任	住民生活課	主 任
2	金 城 栄	水道課	課長(昇任)	水道課	主 幹	25	金 武 和 美	税 務 課	主 任	社会教育課	主 任
3	仲 村 長 正	税 務 課	主 幹	税 務 課	主幹兼住民税係長	26	知 名 純 子	保健福祉課	主 査	税 務 課	主 査
4	仲 間 賢 三	企 画 課	主幹兼企画係長	企 画 課	主幹兼企画係長兼基地渉外・国際交流係長	27	松 田 美津江	企 画 課	主 査	保健福祉課	主 査
5	荻 堂 留利子	保健福祉課	保育所長(昇任)	保健福祉課	主 任 保育士	28	伊 芸 靖	基地跡地推進課	主 任	住民生活課	主 任
6	仲 間 正 己	社会教育課	係 長	北部広域市町村圏事務組	主 事	29	仲 間 あずさ	基地跡地推進課	主 事	住民生活課	主 事
7	新 里 朝 治	建 設 課	係 長	総 務 課	係 長	30	石 川 艶 子	産業振興課	主 査	保健福祉課	主 査
8	与那城 樹	水道課	係 長	建 設 課	係 長	31	末 吉 豪	社会教育課	主 任	基地跡地推進課	主 任
9	名 護 絹 江	議会事務局	係長(昇任)	総 務 課	主 査	32	山 城 平	議会事務局	主 任	企 画 課	主 任
10	島 袋 圭一郎	企 画 課	係長(昇任)	税 務 課	主 任	33	安富祖 匠	北部広域市町村圏事務組合へ派遣		産業振興課	主 事
11	金 城 司	基地跡地推進課	係長(昇任)	基地跡地推進課	主 任	34	仲 間 晃 子	住民生活課	主 事	新 採 用	
12	伊 芸 英 明	税 務 課	係長(昇任)	社会教育課	主 任	35	伊 藝 誠 人	保健福祉課	主 事	新 採 用	
13	糸 村 昌 敏	総 務 課	係長(昇任)	社会教育課	主 任	36	小波津 美 和	企 画 課	主 事	新 採 用	
14	金 城 博 江	保健福祉課	主任保育士(昇任)	保健福祉課	保 育 士	37	前 田 勝 美	総 務 課	主 事	新 採 用	
15	仲 田 厚 子	保健福祉課	主任保育士(昇任)	保健福祉課	保 育 士	38	比 嘉 利 国	産業振興課	主 事	新 採 用	
16	伊 芸 早 子	保健福祉課	主任保育士(昇任)	保健福祉課	保 育 士	39	前 田 義 史	保健福祉課	保 育 士	新 採 用	
17	新 里 睦 美	総 務 課	主 任	住民生活課	主 任	40	宜野座 愛 美	保健福祉課	保 育 士	新 採 用	
18	新 里 智 恵 子	住民生活課	主 査	保健福祉課	主 査	41	与那城 明 子	保健福祉課	保 育 士	新 採 用	
19	伊 芸 明 美	住民生活課	主 査	企 画 課	主 査	42	松 堂 友 美	保健福祉課	保 育 士	新 採 用	
20	宇久田 苗 子	住民生活課	主 査	議会事務局	主 査	43	与那城 美 幸	保健福祉課	保 健 師	新 採 用	
21	金 城 明 美	住民生活課	主 事	総 務 課	主 事	44	宜野座 幸 男	学校教育課	指 導 主 事	新 採 用	
22	池 宮 健	住民生活課	主 事	税 務 課	主 事	45	金 城 いづみ	社会教育課	主 事	新 採 用	
23	宮 城 明 美	税 務 課	主 査	総 務 課	主 査						

金武町役場 人事異動紹介

金武町役場では、4月1日付けで、人事異動がありましたので、お知らせします。

新採用です。よろしくお願いします。

保健福祉課(保育士)
松 堂 友 美

生まれ育った金武町で、保育士としての仕事をしみながら、一生懸命頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いします。

産業振興課
比 嘉 利 国

失敗を恐れずに一日も早く仕事を覚え、町民の皆様になしでも質の高い行政サービスを提供できるように、精進して参ります。

住民生活課
仲 間 晃 子

よりよい住民サービスを提供し、地域住民の皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思いますので、よろしくお願いします。

保健福祉課(保健師)
與那城 美 幸

保健師として、金武町住民の健康の保持、増進のために、住民の皆様と共に頑張りたいと思っています。よろしくお願いします。

保健福祉課(保育士)
前 田 義 史

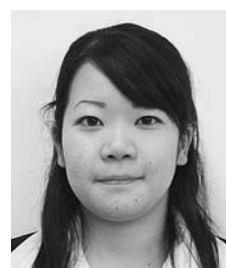
四月から保育士として採用となりました。男性保育士ということで、父親的存在のような雰囲気です。よろしくお願いします。

保健福祉課
伊 藝 誠 人

金武町がさらに良い町になるよう、町民の声に耳を傾け、町民が何を必要としているかを考えながら、一生懸命頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

学校教育課(教育指導主事)
宜野座 幸 男

東京都で教師として勤めた二十八年間で培った経験、金武町のIT講師として勤めた二年間の経験を金武町教育のために誠実をモットーに頑張りたいと思います。

保健福祉課(保育士)
宜野座 愛 美

四月から浜田保育所に保育士として採用になりました。子ども達と毎日が楽しく過ごせるように一生懸命頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

企 画 課
小波津 美 和

地域住民の皆様との交流を深め、より良い町づくりのために誠心誠意努めて参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

社会教育課
金 城 いづみ

地域の皆様の住みやすい町づくり、そして、足を運びやすい役場づくりができるよう、精一杯頑張りますので、よろしくお願いします。

保健福祉課(保育士)
与那城 明 子

金武保育所の保育士として採用になりました。笑顔絶やさず、子ども達の心に寄り添える保育士を目指し、頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

総 務 課
前 田 勝 美

金武町がさらに発展するように日々努力し、そして、町民の皆様のお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願いします。

平成19年度

退職者

〔定年退職〕

仲 田 孝 順
仲 田 常 子
金 城 米 子

〔勸奨退職〕

喜 久 江 枝
仲 田 夏 子
前 田 須 美 江
前 田 美 佐 子
奥 間 美 佐 子
平 伊 田 幸 子
伊 芸 幸 子

長い間、お疲れ様でした！





▲説明会の様子



▲身体情報を測定する機器

すこやかライフサポートサービス説明会

二月二十九日、総合保健福祉センターにおいて、「すこやかライフサポートサービス事業」の事前テスト結果説明会が行われました。この事業は、経済産業省からプロジェクト委託を受けた国際医学情報センターと金武町との共同事業で、本町はそのモデル地区としての指定を受けています。

内容は、自宅において血圧計や心電計・体脂肪計・万歩計等の機器を使用して身体情報を測定。その測定結果をインターネットで送信し医師等の専門職から助言を頂き自分の健康管理にいかしていくものです。

二月一日から、二十名の町民の方にモニターになって頂き、二十九日は一ヶ月間の結果説明会として先生方からの個別結果説明や講演、体験してみてどうだったか等の意見や感想が数多く出されました。

モニターになって頂いた町民のみなさんからは「自分の体調管理に役立った」「毎日歩くことを意識するようになり目標ができた」とことや機器についての要望等が出され、今後も継続していきたいという声がありました。尚、このプロジェクト事業は、平成二十二年三月までとなっており、今年十月の本実施に向けて二百名のモニターを募集する予定となっています。

去った12月21日から24日までの3泊4日の日程で、金武町の松堂洋子舞踊研究所の皆さんが、北海道石狩市の子ども達と異文化交流を行いました。

これは、琉球舞踊を通して、沖縄とは文化、気候風土の異なる地域の子ども達と文化交流を持つことにより、健全育成を図ることを目的に行われました。

金武町の子ども達は、よさこいソーランおどりや、スキーなどを体験しました。

交流会の様子▶



北と南の異文化交流



▲初めての体験に興味津々

金武小学校 黒砂糖作り体験

2月27日、金武小学校で、黒砂糖作り体験が行われました。これは、児童たちによって学校農園内に植えられたさとうきびを使用して行われたものです。

児童たちは、機械を使ってしばったり、大きな鍋をかき混ぜたりと、普段はなかなか体験することのない作業を、興味津々な様子で行っていました。また、児童たちは、実際にさとうきびをかじり、甘い汁に満足げな笑顔を見せていました。



公民館まつい開催



この度、並里区、伊芸区、金武区で公民館まつりが行われ、各区とも様々なイベントや展示物が用意され、多くの区民で賑わっていました。



▲ランドセル贈呈式

二月二十四日、伊芸区公民館で、伊芸公民館まつりが行われました。ガーデニング教室や、グラウンドゴルフ大会、「沖縄戦一フィートフィルム」のビデオ上映会、真栄田絵麻さんによる「笑顔が人生のチャンスを与える」と題した講演会等、多彩なプログラムに、訪れた区民の皆さんも楽しんでいる様子でした。



▲展示の様子



▲漆喰シーサーづくり

三月一日、金武公会堂で、金武区公民館まつりが行われました。まつりでは、エコクラフトや、そば作りなどが行われました。また、婦人会や区事務所による試食コーナーも設けられ、多くの区民がイベントを通して交流を深めていました。午後には、漆喰シーサー作りも行われ、参加した子供たちは、楽しそうに思い思いのシーサーを作っていました。



このほど、平成十九年度コミュニティ整備事業が、金武区を対象に行われ、組み立て式テントやテーブル、O・A器具等(助成額二百五十万円)を整備しました。この事業は、財団法人自治総合センターの助成により

るもので、コミュニティ活動の発展と宝くじの普及広報を目的としています。同事業は、町役場(企画課)を窓口とし、各自治体(区)持ち回りで実施しております。

金武区

組み立て式テント、O・A器具等を整備

コミュニティ助成事業



▲スローイングを指導する新里紹さん



▲バッティングを指導する大野倫さん

元・プロ野球選手が野球教室 新里紹也さん・大野倫さん



三月十六日、金武中学校グラウンドで、小・中学生を対象に、元・プロ野球選手の新里紹也さん(沖縄電力↓ダイエー)、大野倫さん(巨人↓ダイエー)を招き、野球教室が行われました。

野球教室では、肩を故障しないための投げ方や、バットに一番チカラが伝わる振り方等が、やさしく丁寧に指導されました。指導を受けた子どもたちは、プロ経験者の言葉や技術一つ一つを聞き逃さないよう、真剣な表情で耳を傾けていました。

3月2日、金武町営体育館で、第3回バスケットボールフェスティバル(主催:金武町体育協会)が行われました。

フェスティバルには、町内外からバスケット愛好者が参加し、熱戦を繰り広げました。男子の部では琉球リハビリ学園、女子の部では金武町体育協会が、それぞれ優勝に輝きました。



▲男子の部: 優勝の琉球リハビリ学園チーム



▲女子の部: 優勝の金武町体育協会チーム

第3回金武町バスケットボールフェスティバル

▲小学生の部: 優勝の本部JFCチーム
▼一般の部: 優勝の石川高校Aチーム

第30回金武町ミニサッカー大会

2月24日、金武町営グラウンドで、第30回金武町ミニサッカー大会(主催:金武町体育協会)が行われました。今大会には、町内外から、一般の部に17チーム、小学生の部に7チームが参加し、熱戦を繰り広げました。

石川高校Aとオーバー30の対戦となった一般の部決勝では、延長戦の末、石川高校Aが激戦を制し、見事優勝に輝きました。また、小学生の部では、本部町から参加したチーム同士の決勝となり、本部JFCチームが優勝しています。

町内小・中学校で卒業式

笑顔と涙の 旅立ちの日

3月の柔らかい陽射しの中、町内の各小・中学校では卒業式が行われました。

金武小学校85名、嘉芸小学校30名、中川小学校13名、金武中学校110名の児童・生徒たちが、卒業の喜びと別れの寂しさを胸に、思い出の詰まった学舎から巣立ちました。父兄や先生方も涙を浮かべるなど、感動的な旅立ちの日となりました。



金武小学校



金武中学校



嘉芸小学校



中川小学校

きれいな海をとり戻そう

嘉芸小学校

「赤土による濁水の浄化方法」学習会

2月29日、屋嘉区・渡久比那川上流で、嘉芸小学校の5年生が、「赤土による濁水の浄化方法」学習会を行いました。

学習会では、回転式ろ過脱水システムの説明を受けた後、濁った水がどれくらいきれいになっているか実験し、きれいになった水に驚いている様子でした。

同システムは、薬品を使わずに特殊なプラスチック繊維で作ったフィルターを使って、赤土で濁った川の水を透明にした後に、中空糸膜で作ったろ過器で完全に赤土の濁りを取り除く、環境にやさしい水の浄化方法です。



▼真剣に説明を受ける児童たち



▲英語の授業の様子



▲パソコンを使った授業

めざせ 健康長寿の復活！ 第5回 中部地区健康 おきなわ2010推進大会

二月二十一日、第五回中部地区健康おきなわ2010推進大会(主催…中部地区健康おきなわ2010推進会議)が行われ、同日、車両パレードが実施されました。

「健康おきなわ2010」は、平成十四年一月に策定され、県民の健康の効果的な実現を目指し、平成二十二年(二〇一〇年)までに県民一人ひとりの健康を実現するために、県民健康づくり運動として活動を開始したものです。

車両パレードは、中部福祉保健所管内を四つのコースに分かれて実施され、役場駐車場で行われた金武町でのパレード車両受け入れセレモニーでは、儀武剛町長が「我が町においても、昨年度に策定した金武町健康づくり計画を中心に、住民の生活習慣病予防および健康づくりを重要課題とし、積極的に取り組んでいきたいと思っております」と、健康づくりへの決意を述べました。



▲セレモニーの様子

平成19年度

金武町学力向上対策実践発表会 中川小学校公開授業・ 研究発表会・講演会

二月二十日、金武町立中川小学校で、平成十九年度金武町学力向上対策実践発表会が行われました。これは、「幼児・児童生徒に確かな学力などの生きる力を育てる」を目標に掲げ、各学校や地域での取り組みや事業の成果を発表するもので、今回は、中川小学校での開催となりました。

研究発表会に先だって行われた公開授業では、国語、算数、図工、音楽等、各学年の授業が公開されました。六年生の総合の授業では英語の授業が行われ、児童たちは元気よく英語の発声などをしていました。

その後、体育館に場所を移し、研究発表や、「テレビなどメディアとのつきあい方」と題し、仲俣明夫氏による講演会が行われました。

金武中学校四十期生が テントを寄贈

二月二十七日、金武中学校四十期生(昭和四十七年生まれ)の皆さんが、金武中学校にテントを寄贈しました。四十期生を代表して、宮里哲也さんが「去った一月五日、十五年ぶりに開催した同窓会で、お世話になった中学校に何か恩返し



▲寄贈されたテント

をしようと思いいち、今回テントを寄贈することになりました。どうぞ学校行事に役立ててください」とあいさつを述べました。

テントを受け取った岸本敏孝校長は「みなさんの気持ちを大事にして大切にしたいと思っています。後輩たちにもしっかりと伝え、早速行事等に活用していきたいと思います」と感謝の言葉を述べました。



▲40期生のみなさんと岸本校長

門出を祝う花の プレゼント

3月7日、金武中学校卒業式を前に、農業青年クラブが花を寄贈しました。

これは、同クラブが卒業する生徒たちへ、「花を贈ることで新たな出発の日を手伝いたい」と行っているもので、毎年、卒業式シーズンには、町内の各小・中学校にたくさんの花を寄贈しています。今年もまた、色とりどりの花々が贈られ、卒業の日には花を添えました。



▲花を寄贈した農業青年クラブのみなさん

町青協が社協に お茶を寄贈

3月8日、金武町青年団協議会(仲間研二会長)が、金武町社会福祉協議会にお茶・約100個を寄贈しました。

これは、9月に行われた金武町青年エイサーまつりにおいて出店した屋台の売り上げの一部から、町の社会福祉に役立てようと、今回、お茶の寄贈を行ったものです。

受け取った社会福祉協議会の安富祖正雄会長は「青年会の社会福祉への協力にはいつも感謝しています。ありがとうございます」と感謝の言葉を述べました。



▲町青協と社協のみなさん

